

「気仙大工左官伝承館と平泉」

伝承される技術・技能

気仙大工左官伝承館と平泉

第36回建築技術見学会を下記のように開催します。今回は、東京建築カレッジ第14回公開講座「被災地東北の復興と気仙大工・建築技法の伝承」を受け、東日本大震災の被災地岩手県まで足をのばし、私たちが取り組んできた復興支援を検証し、復旧に取り組んでいる様子をつかみ、気仙大工の伝統と心意気を改めて学ぶ取り組みとします。

今回の見学会もバスで行きますが、出発してから伝承館到着まで7時間を要する予定で、車中での長時間移動となります。その点、くれぐれもご理解をお願いいたします。2月の厳冬期で雪が多いことが予想されますが、各支部技術対策委員の方を中心に、皆様の参加をお願いします。

陸前高田市東部の箱根山麓の市民の森にある。気仙大工・左官の優れた建築技法を後世に伝える施設。気仙大工集団は江戸時代初期に市内小友町で発祥し、家大工でありながら神社仏閣、建具や彫刻までこなすほど技量は高かった。明治初期の気仙地方の民家を想定して作られた家屋、土蔵が立つ。材料は気仙杉など地元産を使用している。 ※東日本大震災の影響により、掲載情報と現地状況が異なっている可能性があります。



気仙大工(けせんたいく)
 気仙地方の木工集団。民家、社寺のほか、彫刻・建具もつくります。
 江戸時代からの出稼ぎは、農閑期だけでなく、通年にちかひものでした。
 明治時代から北海道、東京、大阪まで、出稼ぎに行き、各地に建造物があります。

- [と き] 2月19日～20日(日～月) 宿泊：平泉温泉「武蔵坊」
- [と ころ] 気仙大工左官伝承館(視察研修、1日目)、平泉・毛越寺(2日目)ほか
- [参加費] 3万円(参加者負担) 定員30人
- [申込み] 締め切り2月10日 但し定員になり次第締め切り
- [集 合] 2月19日午前7時時間厳守 西新宿センタービル前

行 程
 1日目 午前7時・西新宿==東北道・トイレ休憩3回・昼食==一関IC==
 2時半・気仙大工左官伝承館(視察研修)==4時半・陸前高田市内視察==平泉温泉・ホテル
 2日目 8時半・平泉温泉・ホテル==平泉・毛越寺==中尊寺見学・昼食==
 東北道・トイレ休憩3回==9時・新宿西口駅近辺到着

第36回建築技術見学会申込書

支部

名 前		住 所	電話番号
		〒	電話
生年月日	年 月 日		携帯